

指導責任者	中務日出輝 【メッセージ】産婦人科の一般的な市中病院としての研修ができます。現在、力を入れているのが腹腔鏡手術で、腹腔鏡下子宮全摘術（TLH）や腹腔鏡補助下子宮筋腫核出術（LAM）などが経験できます。2022年12月よりお腹に一切傷がつかない究極の低侵襲手術である経腔的内視鏡手術（vNOTES）を導入しました。少人数のため、責任も大きくなりますが、積極的に手術も執刀して頂こうと思っています。
医師数	常勤医師 3 名 非常勤医師 2 名 計 5 名
指導医・専門医数	日本産科婦人科学会指導医 2 名 / 専門医 3 名 日本周産期・新生児医学会 周産期（母体・胎児）専門医 1 名 日本がん治療認定機構 認定医 1 名
疾患の比率	婦人科腫瘍 40%，周産期 45%， 生殖・内分泌・女性ヘルスケア 15%
病床	25 床
患者数	婦人科手術 約 270 件／年（悪性浸潤癌 5 件、良性腫瘍 130 件、腹腔鏡手術 約 90 件） 分娩 約 300 例／年 帝王切開 約 90 件／年 母体搬送 3-5 件
病院の特徴	姫路聖マリア病院は 1950 年に開設され、現在 440 床、29 の診療科を持ち、中播磨地区の地域周産期病院に指定されています。カトリックの病院のため、人工妊娠中絶、不妊手術を行っていない以外は通常の産婦人科と変わりありません。福利厚生としては病院のすぐ近くにはベタニアという職員マンションが併設されています。また、職員は豊富な機器のあるスポーツジムも利用出来ます。
研修の特徴	正常分娩、腹腔鏡手術、子宮脱、婦人科救急などの手術などを経験できます。悪性腫瘍に関してはごく初期の症例以外は扱っておらず、不妊治療も基本的には行いません。外来では月経困難症などの女性ヘルスケアについても経験ができます。また、初期研修医の先生も基本的に毎月当科でローテーションをしています。
学会認定施設	日本産科婦人科学会 専門医制度地域医療施設 日本周産期・新生児医学会 母体・胎児専門医補完施設
専攻医受け入れ可能人数	1 名／年